



最近は色々な産業にロボットが使われていますが林業はどうでしょうか？

徳島県では「スマート林業プロジェクト」を展開中で林業へのICT活用や新型高性能林業機械の開発などを進めています。徳島の山は複雑で急峻な地形が多いためドローンやGPS、レーザー測量等を使って正確で効率的な施業計画を作り、新型高性能林業機械等で安全に効率的な施業を行うことを目指しています。国の研究機関では四足歩行ロボットを使った実験も行われており、ロボットで林業を行う日が来るのもそう遠くないかもしれません。

献血車がまいります

【日時】10月7日(金)

午前10時から正午まで
午後1時30分から4時30分まで

【場所】小松島市役所

【献血予約】

0120・688・994



400mL 献血にご協力ください。

小松島市

観光名所シリーズ②

金磯砲台跡(幕末地元の豪農が築造)

小松島市金磯町の海岸沿いに「弁天山」と呼ばれる小高い山があります。登り口には弁財天が祀られ、四国霊場18番札所恩山寺の奥の院としても知られています。この小山にはかつて徳島藩の砲台が並び、海を睨んでいました。築いたのは地元の豪農多田宗太郎氏(1824-92年)。現在も直径50センチ程の土台跡が残っています。

幕末の喜永6年(1853年)ペリー提督率いる米軍艦が浦賀(横須賀市)沖に停泊し、開国を要求。いわゆる「黒船来航」にともない日本各地で防衛意識が高まりました。新田開発で富を得た多田家は私財を投入し、1862年から1年半を要して砲台の設置を進め、藩に献

上しました。弁天山は紀伊水道を一望でき、要塞に適した場所、3ヶ所に8門の砲台を備え砲手40名を配置したとされます。射撃場や火薬庫、兵舎も設けたとされ、現在通り抜けできない登り口のトンネルが火薬庫だったと伝えられています。

藩主蜂須賀斉裕(なりひろ)は弁財天に隣接する多田家の屋敷に泊ったとされ、現在でも見張り台や鉄板を敷いた床等が残っています。多田家は1869年まで監守(砲台の責任者)でしたが、結局砲台が使われることは一度もなく、明治維新後に廃止されました。

なお当協力会では2ヵ月に一度(60日間隔)で恩山寺奥の院健康ウォークを開催し、当地を含め周辺観光地をガイドさせていただいております。ぜひご参加ください。

NPO法人小松島市観光ボランティアガイド協力会
理事長 岡久 正

【お問い合わせ先】

NPO法人小松島市観光ボランティアガイド協力会
こまつしま観光案内ステーション (JR南小松島駅内)
☎ 32・1537

休日・夜間の病気やケガの時

市保健センター
☎ 32・3551

休日診療

午前9時〜午後6時

※受診前に必ず医療機関へ電話してください。

月 日	実施医療機関	住 所	電 話
10月9日(日)	金磯病院	金磯町	33・1211
10月10日(祝)	碩心館病院	江田町	32・3555
10月16日(日)	江藤病院	大林町	37・1559
10月23日(日)	金磯病院	金磯町	33・1211
10月30日(日)	碩心館病院	江田町	32・3555
11月3日(祝)	江藤病院	大林町	37・1559
11月6日(日)	金磯病院	金磯町	33・1211

夜間診療

午後6時〜午後10時

市内の医療機関が交代で行っています。

■案内専用電話(☎333・2581)

■市消防本部(☎32・0119)

■市役所当直室(☎32・2111)

※休日・夜間診療は徳島新聞にも掲載されています。

※実施医療機関の都合により変更となる場合があります。

※詳しいことは市保健センター(☎32・3551)まで

